

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷子育てフェス 2017
事業主体 (連絡先)	「伊那谷は子育てバレー」実行委員会 (伊那市坂下 3101-4)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,205,800 円 (うち支援金 : 799,000 円)

事業内容

平成 27 年度に、伊那谷の子育て世代を応援するべくスタートした「伊那谷子育てフェス」であるが、3年目となる今回は、「伊那谷は子育ての適地」という情報発信による定住促進につながるよう、ワークショップやステージなどを含んだイベントを、11月に2日間、長野・伊那きのこ王国にて開催した。郷土料理などの提供、フリーマーケットや体験ブースなどの交流、伊那市寄付マルシェ見本市、またステージイベントと、盛りだくさんの内容であった。

合わせて今回は、伊那谷という広域での連携を見据えて、飯田市「飯田丘のまちフェスティバル」への出展を実施した。



【イベント会場】

【目標・ねらい】

- ①伊那谷が子育ての適地である、というメッセージの発信
- ②広域への展開
- ③イベントの継続実施

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 2日間の来場者数は約 2,100 名ということで、一定数の効果が得られた。会場側による同日開催イベントと合わせて、回遊できる環境が形成されている。本イベントが、地域に定着しつつあると評価できる。
- ② 飯田市でのイベントにおいては、ブース来場者約 400 名となり、また伊那、飯田双方のイベントへ来場するという展開につながっている。
- ③ 来場者アンケートによると、約 8 割がまた参加したいという反応であり、今後の開催を期待されている。

※自己評価 【 B 】

【理由】想定以上の来場者を得られたことや、昨年以上に出展者や来場者の交流が始まっている。また、来場者の声からも本イベントへの一定評価が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本イベントが発信している「伊那谷が子育ての適地である」という情報や、子育て世代の応援については、地域においても意識の中に定着しつつあると考えられる。合わせて、様々な地元団体等との連携や、団体同士の交流も生まれつつある。今後も、伊那谷地域の活性化や情報発信に向けた活動として、継続を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある